

- 感染への不安を減らすため - 「わかちあい」の方法を少し変更します

前回4月に予定していました会は、会場の生涯学習センターが休館となったため中止とさせていただきました。予定をされておられた方、申し訳ございませんでした。

今回の6月の次は8月23日を予定しています。ただ、状況によっては中止の可能性もありますので、直前にご確認の上、お出かけください。また、会からメールでご案内をお送りする「リメール」にご登録いただきますと、こちらから最新の情報を送らせていただきます。

今回6月の「わかちあい」ですが、ご参加の人数によっても変わるかと思いますが、いつもと少し違う方法で行いたいと思います。

- ・アルコールでの手の消毒など（アルコールは準備します）
- ・マスクをお願いします（予備は受付で準備します）
- ・トーキングスティック（話す人が合図として持つもの）を使わない
- ・輪ではなく、できるだけ弧に近い形で
- ・お茶など飲み物は各自ご持参ください

身近な方が亡くなり、そんなことに気を使っている余裕などない、それどころでなない、マスクで話が聞きづらい、話したいけどやはり感染は心配など、みなさまさまざまな思いをお持ちかと思えます。

みなさまのご意見を思いをお聞きしながら、安心してお話しいただける、安心して居られる場にしたいと思っております。

- 会の開催日などをメールでお知らせする - 「リメール」登録のご案内

メールで会の開催日などをお知らせする「リメール」というしくみがあります。メールアドレスだけで匿名で結構です。

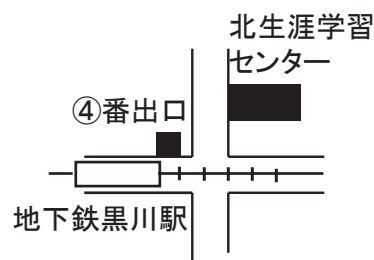
パソコン用と携帯用（文字数が少し少ない）があります。「パソコン版りめーる登録希望」または「携帯版りめーる登録希望」と書いて、メールにてご連絡ください。

メールアドレス：remember_nagoya@yahoo.co.jp

次回の遺族会

第98回

6月28日(日) 13:15から
名古屋北生涯学習センター
地下鉄名城線「黒川」下車
(4番出口)よりすぐ
参加費:500円



その次は...

第99回

2020年8月23日(日)
北生涯学習センター

日程は、ホームページまたは、電話案内でご確認いただけます。パソコンの方

<http://will.obi.ne.jp/remember/>
携帯電話の方

<http://www.will.obi.ne.jp/m/>
電話案内(録音でのご案内)

090-8544-9408

新聞郵送をご希望の方へ

1月～6月末までのお申し込み(前期)…1000円

7月～12月末までのお申し込み(後期)…500円

詳しくはスタッフまで

スタッフ募集

遺族会に参加したことがある方で、会の活動のお手伝いをいただける方募集しています。

詳しくはお問い合わせください。

近隣の遺族会のご案内

以下中止・延期の場合もありますので、直前にご確認の上、お出かけください。

次回「ディアレスト」のご案内

家族ではないけれども大切な人を自死で亡くされた方を対象に、遺族会「ディアレスト (Dearest)」が開催されています。

日時：2020年7月19日(日) 13:30-16:00

場所：名古屋市中村生涯学習センター

地下鉄東山線「本陣」駅

対象：家族以外の人(恋人・婚約者・パートナー・親友・同僚・上司・部下・先輩・後輩・先生・生徒、など)を自死(自殺)で亡くされた方

参加費：500円

連絡先：the.dearest1@gmail.com

<http://dearest.heya.jp>

次回「～こころの居場所～AICHI自死遺族支援室」のご案内

通常分かち合いのかわりに、7月以降、個別の相談会を計画しておられます。詳しくはお問い合わせください。

連絡先：cocoroibasyo@yahoo.co.jp

090-4447-1840

<http://cocoroibasyo.org/>

次回「いっぷく処」のご案内

さまざまな宗派の僧侶の方が集った「いのちに向き合う宗教者の会」により、「いっぷく処」が定期的で開催されています。平日午後での開催になります。

対象：大切な方を自死で亡くされた方

主催：いのちに向き合う宗教者の会

連絡先：info@inochi.in <http://inochi.in/>

次回は未定となっています。また「いっぷく処 お便り」として、手紙によるやりとりをされています。詳しくはお問い合わせください。

自死遺族向け面接相談(無料)のご案内

○愛知県精神保健福祉センター

要予約 052-962-5377 毎月第3木曜日 午後2時-3時30分

○名古屋市精神保健福祉センターこころば

要予約 052-483-2095 毎月第3火曜日 午前10時-12時

自死遺族向け電話相談(無料)のご案内

自死遺族を支援するNPO法人「アフター・ザ・レイン」(名古屋市)による電話相談

<https://aftertherain-japan.org/>

夜間電話相談： 毎週火曜日 22時から翌朝4時まで
0570-017-222

りめんばー

家から一歩出て他の人と接する時にはマスクをするというのが、なかば「常識」のような雰囲気になっています。暑いさなか、マスクをし続けるのはとてもたいへんです。日々発表される新型コロナウイルスの感染者数を見ながら、この「常識」は本当に意味のあることなのかと疑うこともあります。

「常識」は、時に多くの人が本心としてはそうは思っていないとしても、社会の意思、規範としてまかりとおってしまうことがあります。そこからはずれる行為に対し、「非常識」であったり、「不謹慎」などという言葉でもって、攻撃、排除が行われたりします。最近では「自粛警察」などという言葉も生み出されるほど、ますます顕著になっている部分もあります。

自死者、そして自死の遺族へも、言葉は多少違って、同じような攻撃、排除を感じることがあります。自分自身、遺族という立場になる前には、自死に対し今とは違った、とても受け入れられない感情をもっていたことを覚えています。きっと未知なることへの恐れのようなものがそうさせていたのではないかと思います。今回のウイルスのことも、姿も見えない、この先どうなっていくかもわからないことへの、人々の恐れ、不安が根底にあり、そのことがとても大きいのだと思います。

見ず知らずの人が、目の前でマスクをせず咳を繰り返していたら、自分自身その場をそっと離れるかもしれません。恐れ、不安の充満した社会は、お互いへの不信感に満ちあふれ、とても居心地の悪いものになっているように感じます。

「家にいよう。みんなのために」という標語がありました。以前市内に貼り出された自死にまつわるポスターの「みんなで守ろう大切ないのち」のことを思い出します。一見やさしさのように聞こえるその言葉に、そこからはずれることを許さない、威圧的な恐怖を感じるのは自分だけでしょうか。マスクをして外を歩く時の息苦しさは、単に呼吸のことだけではないようです。(KN)